



校長室だより

2023 Next Stage

令和6年1月31日
白山市立美川小学校
白山市美川和波町ワ229
TEL 278-2063



もうじき1ヶ月

校長 清水由美子

初めに、この度の能登半島地震で被災された皆さま、そのご家族の皆さまに心からお見舞い申し上げます。そして、1日も早い復旧・復興、1日も早く子どもたちの笑顔と学校生活が戻ることをお祈りいたします。

『令和6年度能登半島地震からもうじき1か月がたとうとしています・・・』テレビのアナウンサーの言葉に「もう1か月」（あつというまだつた）という思いと、「まだ1か月」（ずいぶん前のことのような気がする）という思いが交錯しています。能登地方で観測した地震としては、記録が残る1885年以降で最大規模であり阪神・淡路大震災や熊本地震を上回るものであったこと、津波の影響もかなり大きかったことが明らかになってきました。子どもたちが感じた恐怖もどれだけ大きかったことでしょうか。この1か月の間に徐々に復旧が進んでいるとはいえ、能登を中心にいまだ断水や停電が続き、今もたいへんな状況で過ごされている方がたくさんいます。そんな中、子どもたちが避難所で活躍している姿や、ようやく学校が再開したというニュースを聞き、安堵したり、自分は何ができるのかと考えたり、頭の中をいろいろな思いが行き来した1か月でした。

さて、美川小学校では今回の地震を機に、地震や津波の際の避難について全教職員で確認するとともに、保護者の皆さまにもお知らせをtetoruで配信しました。また、改めて美川小の立地（体育館は海拔5.9m、海岸から直線距離で0.3km）と美川地区の「指定緊急避難場所（津波）」についてもハザードマップで確認しました。ハザードマップには津波避難の3原則として【1. 想定にとらわれるな 2. 最善を尽くせ 3. 率先避難者たれ】（群馬大学大学院教授 片田敏孝提言）と書かれています。子どもたちの安全を守るため、この言葉を胸に刻んでおきたいと思います。

Q&A 校長室からお答えします

Vol.107 Q 津波警報時にすばやく避難できるのか心配です。（保護者より）

A お知らせしたとおり、原則、白山市に津波警報が出された時は、美川中学校に避難することになります。全員が運動場に集合した学級から移動を開始します。授業中だけでなく休み時間の避難についても確認しています。できるだけ落ち着いてすばやく避難できるよう、今後も計画的に避難訓練を行っていきます。

また、3学期初めには、1～3年生が美川中学校まで実際に歩き、避難経路の確認を行いました。登下校中や外出時の避難方法については、ご家庭でも確認しておいて下さい。

緊急避難情報を確認し、状況によっては美川小2階への避難も想定しています。お知りおき下さい。



体育館入り口の表示(白山市)

Vol.108 Q ジャンパー（防寒具）は玄関に置かなくなったのですか。

（おはようボランティアさんより）

A 万が一、津波警報等で避難をしなければならなくなった時に、より速く、そして少しでも暖かくして避難するために、3学期からジャンパーなどは自分の教室や近くの教室などに置くことにしました。ジャンパーに記名がされているか、フックに引っ掛けられるか、確認をお願いします。